



# NEWS RELEASE

## 平成18年3月期 中間決算の概要

平成17年10月31日

日立住友重機械建機クレーン株式会社

当中間期のクローラクレーンの市場は国内外とも総じて拡大傾向に推移しました。その中で各地域に特化したエリア戦略を推進し売上の拡大を図るとともに、鉄鋼資材・部品等の調達価格の上昇に対応し販売価格の改善に注力しました。また製造・販売・部品サービスの一体運営の中で収益力の向上に努めました。

その結果、当中間期の営業成績（連結）は、売上高10,725百万円、経常利益 949百万円、純利益524百万円となり、また営業成績（単体）では、売上高9,406百万円、経常利益 733百万円、純利益 397百万円となりました。

国内については、経年機の海外流出で国内の稼働台数が減少している一方では、都市部での民間設備投資による工事量の増加が購買意欲を高め、加えて排ガス規制や過積載規制などの法規制強化による買替えが需要の増加につながりました。その結果、当中間期のクローラクレーンの新車需要は前中間期比8%の増加になりました。当社は積極的な顧客アプローチと機種戦略を推進し、クローラクレーンの販売台数を前中間期比10%増加させ、国内シェアも40%で継続してトップシェアとなりました。中古車及び部品販売を含めた当中間期の国内売上高は4,888百万円となりました。

海外については、主要市場である北米のクレーン需要が急激な回復を見せています。加えて、オイル景気により投資意欲が増大している中東では需要が急速に拡大しつつあります。また欧州や中国・アジア市場も堅調に推移し、海外のクレーン需要は増加傾向にあります。当社は各地域ごとにマーケティングと機種戦略を実施し、提携先との連携や販売力を強化して売上の拡大に努めました。その結果、当中間期の海外売上高は4,518百万円となりました。

尚、北米や中東の需要増加は今後さらに加速し、下期以降は海外市場向けの販売台数が大幅に増加すると予想されます。

当社は今後の需要増加に対応し得るよう生産体制の強化に取り組み、同時に機種ラインナップの拡充も進めていきます。また部品及びサービス事業の強化により安定収益の確保を図ります。こうした方策を迅速かつ着実に推進していくことでクレーン事業のさらなる拡大と収益の向上を目指します。

- 1) 名古屋工場の生産体制を大幅に強化します。
- 2) 市場のニーズにマッチした新機種を継続的に市場に投入します。
- 3) 100%子会社のHSCクレーンサービス(株)を吸収合併し、部品・サービス事業の強化を進めます。
- 4) 国内外で引続き売価改善に注力し、市場への価格浸透を図ります。
- 5) 世界市場での地域別エリア戦略を迅速に遂行し、また提携先との協業を推進します。
- 6) キャッシュフローを重視した事業運営を進めます。

### 会社概要

社名	日立住友重機械建機クレーン株式会社
設立日	平成14年7月1日
本社	東京都台東区上野7丁目12番14号 代表 03-3845-1384
資本金	40億円
代表取締役	中西 英久
ホームページ	<a href="http://www.hands-crane.com/">http://www.hands-crane.com/</a>

本件に関するお問い合わせは、事業企画室(03-3845-1386 担当：網谷)までお願い致します。

# 平成18年3月期 中間決算の概要

平成17年10月31日

会社名 日立住友重機械建機クレーン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 中西 英久  
 問合せ先責任者 事業企画室部長 網谷 義隆 TEL (03)3845-1386

## 1. 当期の業績（連結）（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

### (1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
当中間期	10,725	971	949	524
前期	20,753	610	566	285

## 2. 当期の業績（単体）（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

### (1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当中間期	9,406	757	733	397	4,968 64
前中間期	9,198	174	137	75	3,751 45
前期	18,920	422	372	187	3,741 57

### (2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
当中間期	11,232	4,758	42.4	59,485 83
前中間期	7,296	1,249	17.1	62,466 27
前期	10,861	4,361	40.2	54,517 19

## 3. 平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
(連結) 通期	25,000	2,000	2,000	1,100
(単体) 通期	22,000	1,500	1,500	800

## 貸借対照表（単体）

	当中間期 ( H17.9.30現在 )		前 期 ( H17.3.31現在 )	
		%		%
〈資産の部〉				
(流動資産)	(10,417)	92.7	(10,181)	93.7
現金及び預金	1,820		1,153	
受取手形及び売掛金	4,845		5,363	
棚卸資産	3,350		3,097	
その他の流動資産	396		563	
(固定資産)	(815)	7.3	(680)	6.3
有形固定資産	316		209	
無形固定資産	58		37	
投資その他の資産	439		432	
資産合計	11,232	100.0	10,861	100.0

	当中間期 ( H17.9.30現在 )		前 期 ( H17.3.31現在 )	
		%		%
〈負債の部〉				
(流動負債)	(6,452)	57.4	(6,483)	59.7
支払手形及び買掛金	5,301		5,500	
その他の流動負債	1,147		978	
(固定負債)	(21)	0.2	(16)	0.1
その他の固定負債	21		16	
負債合計	6,473	57.6	6,499	59.8
〈資本の部〉				
資本金	4,000	35.6	4,000	36.8
当期末処分利益	758	6.7	361	3.3
資本合計	4,758	42.4	4,361	40.2
負債及び資本合計	11,232	100.0	10,861	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書（単体）

	当中間期		前中間期	
	H17.4.1から H17.9.30まで		H16.4.1から H16.9.30まで	
		%		%
〈経常損益の部〉				
（営業損益）				
売上高	9,406	100.0	9,198	100.0
売上原価	7,522	80.0	8,091	88.0
販売費及び一般管理費	1,126	12.0	932	10.1
計	8,649	92.0	9,023	98.1
営業利益	757	8.0	174	1.9
（営業外損益）				
営業外収益				
受取利息及び配当金	0	0.0	0	0.0
雑収入	0	0.0	0	0.0
計	0	0.0	0	0.0
営業外費用				
為替差損	0	0.0	37	0.4
雑損失	23	0.2	0	0.0
計	23	0.2	37	0.4
経常利益	733	7.8	137	1.5
〈特別損益の部〉				
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税引前当期利益	733	7.8	137	1.5
法人税、住民税及び事業税	393	4.2	79	0.9
法人税等調整額	△57	△0.6	△17	△0.2
当期純利益	397	4.2	75	0.8
前期繰越利益	361	3.8	174	1.9
当期末処分利益	758	8.1	249	2.7

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。